ふれあうナカマ　育む　見守る　ちょっと近くない？

ふれあうナカマ　育む　見守る　えっ？

楽しい祭り

お店づくり 工夫いっぱい

わたしたちの川平小学校には、「風の子まつり」という児童会のお祭りがあります。4年生から6年生までの各学級がそれぞれお店を出して、交代しながら子どもたちみんなでお店を回って遊びます。

各店には店長や受け付け、宣伝などの係があり、みんなで仕事を分担して活動します。1～3学年の児童も、お店の看板を作ります。

手作りのプラバンのお店やお笑いを見せるお店、体育館ではロープや跳び箱、マットを使ったアスレチックのコーナーやボールを使ったゲームのお店など、いろいろな内容があります。

特に毎年6年生が出す「おばけやしき」は大人気で、長い行列ができます。どの店もそれぞれに工夫をこらして、お客さんを楽しませようとがんばります。

当日は地域や保護者の方々もいらっしゃって、大にぎわいです。わたしたちは毎年この風の子まつりが楽しみです。

自分たちが考えたゲームをお客さんに教えて、楽しんでもらいます

編集委員　大塚愛海、柳川悠生、佐川晃理、佐藤さら、三浦朱華、穂積宗大（6年）
指導教諭　山根美紀、滝野温美

川平小

学校名　仙台市立川平小学校
所在地　仙台市青葉区川平３の36の１
電話　022(279)1712
校長　五十嵐　誓
児童　504人

給食おいしいよ

川平小では、給食を学校で作っています。あつあつでとてもおいしいです。オリジナルのメニューもあります。例えば「インディアンスパゲティ」です。カレー味で野菜がたくさん入っているので、栄養たっぷりで体にもいいです。

わたしたちは毎日おいしい給食をたくさん食べて、大きくなっています。

次回は
宮城野小（仙台市）
福岡小（白石市）

気仙沼小

学校名　気仙沼市立気仙沼小学校
所在地　気仙沼市笹が陣３の１
電話　0226(22)6966
校長　千葉　清人
児童　242人

身近な海を学ぶ

気仙沼小は、海に関する学習にも力を入れています。昨年度、6年生は気仙沼の海の酸性化について考えました。人間が生み出す二酸化炭素で、海が酸性に近づいていると知りました。海水が酸性化すると、魚が住めなくなるだけでなく、水産業の発展や私たちの生活に関わる環境問題だと学びました。共に生きる海を大切にしたいです。

地域再発見

地元の食材 丸ごと弁当に

気仙沼小学校の総合的な学習は、学年ごとに地域と関わりながら取り組んでいます。昨年度、6年生は気仙沼の食材を生かしたオリジナル弁当作りをしました。

弁当を作るにあたり、気仙沼の特産品や栄養バランスを考えました。海の幸を使ったほたてご飯、メカジキのカツ、タコ唐揚げ、ふかひれスープ。地場産品を使っただし巻き卵、ポテトサラダ、小松菜のおひたしも入れることになりました。

お弁当作りには、地元の料理人、坂本倫理さんにご指導をいただきました。メカジキのカツとタコ唐揚げの揚げ物は、初めての経験だったので、苦労しました。でも一つ一つ心を込めて作ったので、どれもとてもおいしくできました。

このオリジナル弁当は、6年生全員で話し合い、「気仙沼の恵みいっぺ～弁当」と名付けました。気仙沼の食材をもっと知ってもらいたいという願いを込めています。

オリジナル弁当を作る活動を通して、気仙沼のよさを再発見することができました。

気仙沼産ネギ入りのだし巻き卵。うまくできるかな

編集委員　菅原旦、懸田琉奈、及川萌愛、佐藤佑香、佐藤大斗（3月で卒業、中1）
指導教諭　金野美由起（転任）